



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	23-5568-3	版	8.00
発行日	2023/12/25	前発行日	2021/01/19

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M(TM) クイックワックス 39034

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

危険有害性情報

H402 水生生物に有害

注意書き

一般：

- P102 子供の手の届かないところに置くこと。
 P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

- P273 環境への放出を避けること。

廃棄

- P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	60 - 100
イソプロピルアルコール	67-63-0	0.86
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	< 0.015
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム =クロリド	112-02-7	< 0.005

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合

暴露した場合、石鹸と水で洗浄する。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせない。口をゆすぐ。気分が悪い場合は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 水で残さを清浄する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 環境への放出を避けること。

保管

特別な保管条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	AIHA	TWA : 10 ppm	
イソプロピルアルコール	67-63-0	ACGIH	TWA : 200ppm、STEL : 400ppm	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
イソプロピルアルコール	67-63-0	ISHL	TLV (8 時間) : 200 ppm	
イソプロピルアルコール	67-63-0	JSOH OELs	CEIL : 980 mg/m3 (400 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m3 : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

特別な皮膚保護は必要ない。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	茶色、褐色
臭い	わずかな溶剤臭
臭いの閾値	データはない。
pH	8.5 - 9.2
融点・凝固点	適用しない
沸点、初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	> 100 °C [試験方法 : クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない

燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	0.985 - 1 g/ml
比重	0.985 - 1 [参照基準：水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	1 - 20 mPa-s
揮発性有機化合物	12 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発性有機化合物	1.2 重量% [試験方法：カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
揮発分	99 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	379 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
イソプロピルアルコール	皮膚	ウサギ	LD50 12,870 mg/kg
イソプロピルアルコール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 72.6 mg/l
イソプロピルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 4,710 mg/kg
オクタメチルシクロテトラシロキサン	皮膚	ラット	LD50 > 2,400 mg/kg
オクタメチルシクロテトラシロキサン	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 36 mg/l
オクタメチルシクロテトラシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	多種類の 動物種	刺激性なし
オクタメチルシクロテトラシロキサン	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
----	-----	---------

イソプロピルアルコール	ウサギ	激しい刺激
オクタメチルシクロテトラシロキサン	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	モルモット	区分に該当しない。
オクタメチルシクロテトラシロキサン	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	In vitro	変異原性なし
イソプロピルアルコール	In vivo	変異原性なし
オクタメチルシクロテトラシロキサン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2世代
イソプロピルアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2世代
イソプロピルアルコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	器官発生期
イソプロピルアルコール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 9 mg/l	妊娠期間中
オクタメチルシクロテトラシロキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.5 mg/l	2世代
オクタメチルシクロテトラシロキサン	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ウサギ	NOAEL 50 mg/kg/日	器官発生期
オクタメチルシクロテトラシロキサン	吸入した場合	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 3.6 mg/l	2世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
----	----	------	---------	-----	------	-------

イソプロピルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 13.4 mg/l	24 時間
イソプロピルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12.3 mg/l	24 月
イソプロピルアルコール	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12 mg/l	13 週
イソプロピルアルコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/day	12 週
オクタメチルシクロテトラシロキサン	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 960 mg/kg/day	3 週
オクタメチルシクロテトラシロキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.5 mg/l	13 週
オクタメチルシクロテトラシロキサン	吸入した場合	内分泌系 免疫システム 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.5 mg/l	2 世代
オクタメチルシクロテトラシロキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.5 mg/l	13 週
オクタメチルシクロテトラシロキサン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg/day	2 週

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	ブラックワーム (蠕虫)	実験	28 日	NOEC	0.73 mg/kg (乾燥重量)
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	ユスリカ	実験	14 日	LC50	>170 mg/kg (乾燥重量)
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	アミ	実験	96 時間	LC50	>0.0091 mg/l
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>0.022 mg/l
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>0.015 mg/l
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	ニジマス	実験	93 日	NOEC	0.0044 mg/l
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.015 mg/l
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EC50	0.00411 mg/l
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	0.0924 mg/l
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	0.21 mg/l
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EC10	0.00227 mg/l
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	0.023 mg/l
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝	112-02-7	バクテリア	実験	16 時間	EC50	3.2 mg/l

クロリド						
イソプロピルアルコール	67-63-0	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,050 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	無脊椎動物	実験	24 時間	LC50	>10,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	実験 生分解性	29 日	二酸化炭素の発生	3.7 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 310 CO2 Headspace
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	31 日 (t 1/2)	
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	69.3-144 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	93.5 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	類似コンパウンド 生分解性	40 日	%	>99.98 %	OECD 303A - 模擬好気性下
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期	>33 日 (t 1/2)	
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド	112-02-7	類似コンパウンド 土壌固有生分解性	70 日	二酸化炭素の発生	64 CO2発生量/理論CO2発生量%	
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	86 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	12400	40CFR 797.1520-魚類生物濃縮
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	6.49	OECD 123、log Kow (オクタノール/水分配係数)、低速攪拌法
ヘキサデシルトリメチルアンモニウムクロリド	112-02-7	類似コンパウンド BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	741	OECD305-生体濃縮度試験
ヘキサデシルトリメチルアンモニウムクロリド	112-02-7	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.08	
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.05	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
イソプロピルアルコール	イソプロピルアルコール	該当	該当
イソプロピルアルコール	プロピルアルコール	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：製品用途 情報の追加。
 セクション2：環境影響ステートメント 情報の追加。
 セクション2：GHS分類 情報修正。
 セクション2：注意書き - 廃棄 情報の追加。
 セクション2：注意書き - 一般 情報の追加。
 セクション2：注意書き - 安全対策 情報の追加。
 セクション3：成分表 情報修正。
 セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正。
 セクション4：応急措置(飲み込んだ場合)の情報 情報修正。
 セクション4：応急措置(吸入した場合)の情報 情報修正。
 セクション4：応急措置(皮膚の接触した場合)の情報 情報修正。
 セクション5：火災時情報(消火剤) 情報修正。
 セクション6：事故漏出時の措置 情報修正。
 セクション8：mg/m³ 記号 情報の追加。
 セクション8：作業環境許容値 情報修正。
 セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正。
 セクション8：ppm 記号 情報の追加。
 セクション9：融点/凝固点 情報修正。
 セクション9：燃焼性(固体、ガス)情報 情報修正。
 セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。
 セクション11：急性毒性の表 情報修正。
 セクション11：発がん性の表 情報修正。
 セクション11：生殖細胞変異原性の表 情報修正。
 セクション11：光感作性の表 情報の削除。
 セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
 セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
 セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
 セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
 セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
 セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。
 セクション12：水生生物への急性毒性情報 情報修正。
 セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
 セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
 セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
 セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
 セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。
 セクション15：法規名 - 表 情報の削除。
 セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。